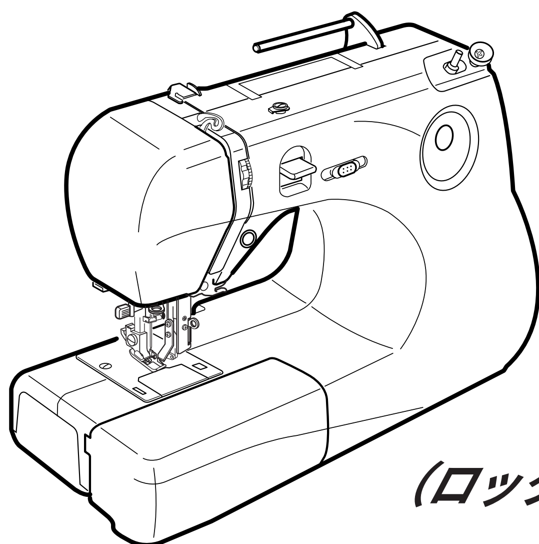
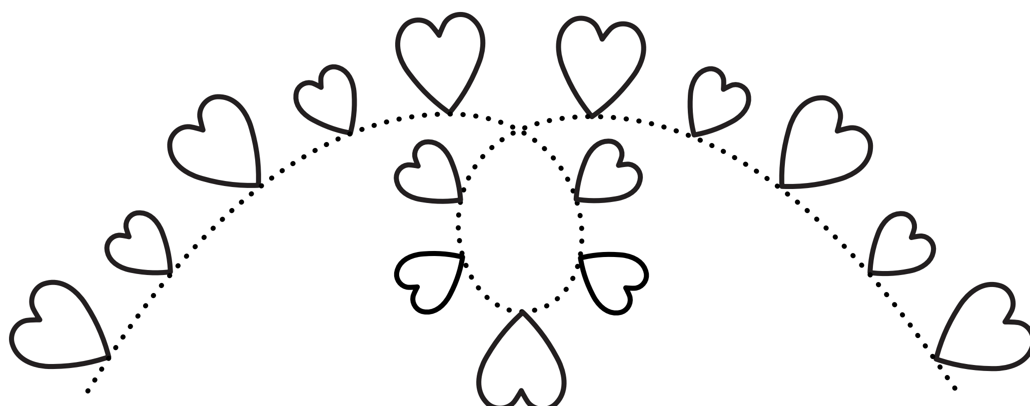
ご使用のしおり

《取扱説明書》



（ロックカッター内蔵）



JANOME

安全上のご注意

◆ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
◆ここに示した注意事項は、ミシンを安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
◆お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
◆このミシンは、日本国内向け家庭用です。　For use in Japan only.

危害・損害の程度を表わす表示

⚠ 警告　この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。	⚠ 注意　この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

本文中の図記号の意味

⚠	△記号は、気を付けていただきたい「注意」の内容です。図の中には具体的な注意内容を表示しています。（左図の場合は一般的な注意）
🛇	⃠記号は、行ってはいけない「禁止」の内容です。図の中には具体的な禁止内容を表示しています。（左図の場合は分解禁止）
●	●記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。図の中には具体的な指示内容を表示しています。（左図の場合は一般的な強制）

⚠ 警告　感電・火災・けがの恐れがあります。

必ず実行	一般家庭用、交流電源 100 V でご使用ください。
必ずプラグを抜く	以下のような時は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。 ・ミシンのそばを離れるとき ・ミシンを使用したあと ・ミシン使用中に停電したとき

⚠ 注意　感電・火災・けがの原因となります。

分解禁止	お客様自身での分解はしないでください。
接触禁止	ミシンの操作中は、針から目を離さないようにし、針・針止め・はずみ車・天びん・糸巻き軸・ロックカッターなどすべての動いている部分に手を近づけないでください。 針止め　針　はずみ車　天びん　糸巻き軸　ロックカッター
禁止	ぬい中に布を無理に引っ張ったり、押したりしないでください。針が曲がり、針折れの原因になります。
禁止	曲がった針や、針先のつぶれた針はご使用にならないでください。
禁止	このミシンを使用するときは、付属の専用電源コードを使用してください。 付属の電源コードは、このミシン以外の電気製品には使用しないでください。
禁止	フットコントローラーの上に物をのせないでください。
注意	不用意にスタート・ストップボタンを押すと、針やはずみ車が動き 、けがの原因になりますので十分注意してください。
注意	お子様がご使用になるときや、お子様の近くでご使用される時は、特に安全に注意してください。
必ず実行	針及び押さえは、確実に固定してください。また、押さえは、ぬいに合ったものをご使用ください。 針が押さえにあたり、けがの原因になります。
必ず実行	プラグ受けに糸くずや、ほこりがたまらないようにしてください。火災の原因になります。
必ず実行	以下のことをするときには、電源スイッチを切ってください。 ・押さえ、アタッチメントを交換するとき ・上糸、下糸をセットするとき
必ず実行	電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らずプラグを持って抜いてください。
必ずプラグを抜く	以下のことをするときには、電源スイッチを切って電源プラグを抜いてください。 ・針、針板を交換するとき ・ランプを交換するとき（ランプが冷えてから行ってください。） ・ミシンのお手入れを行うとき
必ずプラグを抜く	ミシンに以下の異常があるときは、速やかに使用を停止し、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてお買い上げの販売店にて点検・修理・調整をお受けください。 ・正常に作動しないとき ・水に濡れたとき ・落下などにより破損したとき ・異常な臭い・音がするとき ・電源コード・プラグ類が破損、劣化したとき

目次

おとり扱いについてのお願い

◇ご使用の前に

①ほこりや油などで、ぬう布を汚さないように、使う前に乾いたやわらかい布でよく拭いてください。
②シンナー・ベンジン・ミガキ粉は絶対に使用しないでください。

◇いつまでもご愛用いただくために

①長時間日光に当てないでください。
②湿気やほこりの多いところは避けてください。
③落としたり、ぶつけるなど衝撃を与えないでください。

各部のなまえ

【糸立て棒の取り付け】・・・取り付け穴に差し込んでください。

糸立て棒
取り付け穴

※糸立て棒は標準付属品に入ってます。

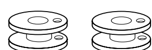
天びん
糸巻き軸
糸調子ダイヤル
面板
糸切り
糸通し
針板
補助テーブル
角板
角板開放ボタン
スタート・ストップボタン
返しぬいレバー
スピードコントロールつまみ
模様表示窓

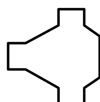
手さげハンドル
はずみ車
模様選択ダイヤル
電源スイッチ
フットコントローラープラグ受け
プラグ受け
フリーアーム
押さえ上げ
電源コード

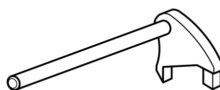
糸通し
ロックカッターレバー
押さえホルダー
針止めねじ
針
押さえ

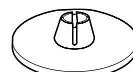
標準付属品

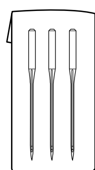
補助テーブルに収納されています。

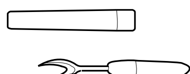

ボビン

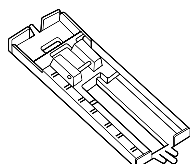

ドライバー

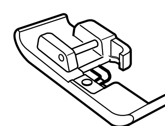

糸立て棒


糸こま押さえ

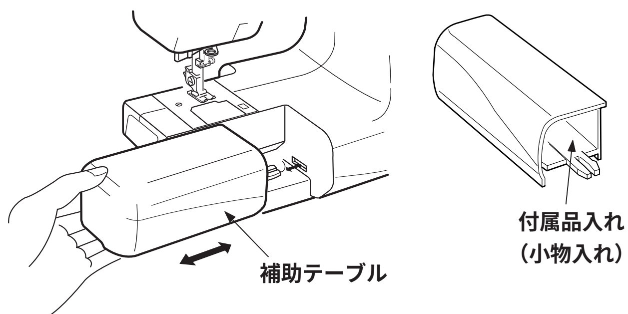

針


シームリッパー


ボタンホール押さえ

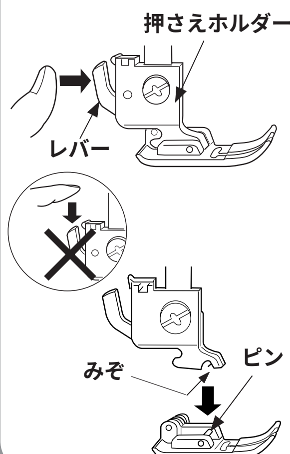

かがり押さえ
(ロックカッター用)

フリーアーム



補助テーブルを横に引いて外すと、フリーアームになります。袖口や筒物などのぬいに利用します。
補助テーブルは、小物入れとしても利用できます。

押さえの交換

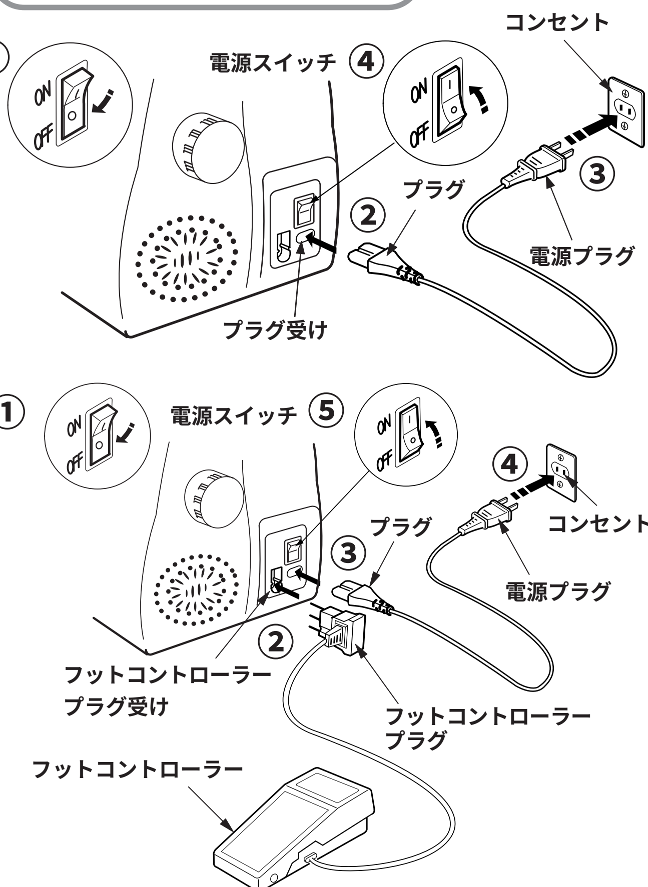


① 押さえ上げをあげ、押さえホルダーのレバーを図のようにうしろ側から手前に押して、押さえを外します。

※ レバーを押すときは、図の位置を矢印方向に押してください。
レバーを上から押すと故障の原因になります。

② 押さえのピンを押さえホルダーのみぞに合わせて、押さえ上げを静かにおろします。

電源のつなぎ方



【スタート・ストップボタンを使用するとき】

①電源スイッチを切り（OFF）ます。

②プラグをプラグ受けに差し込みます。

③電源プラグをコンセントに差し込みます。

④電源スイッチを入れ（ON）ます。

⚠警告
・電源は一般家庭用交流電源（100V 50/60Hz）です。 ・ミシンを使わないときは、電源プラグを抜いてください。 感電・火災の原因になります。 ・電源プラグやプラグ受けのほこり等は取り除いてください。 火災の原因になります。

【フットコントローラーを使用するとき】
（フットコントローラーは、モデルにより別売になります。）

①電源スイッチを切り（OFF）ます。

②フットコントローラープラグをフットコントローラープラグ受けに差し込みます。

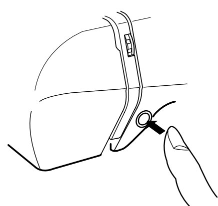
③プラグをプラグ受けに差し込みます。

④電源プラグをコンセントに差し込みます。

⑤電源スイッチを入れ（ON）ます。

※フットコントローラーを接続すると、スタート・ストップボタンは使用できません。

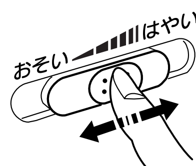
スタート・ストップボタン



ボタンを押すと、スピードコントロールつまみでセットした速さでぬい始めます。
もう一度ボタンを押すと、停止します。

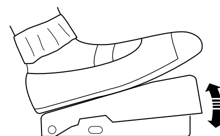
※ボタンを押し続けている間は、低速で動きます。

スピードの調節



【スピードコントロールつまみ】

ぬう速さは自由にセットできますので、スピードコントロールつまみを、お好みの速さにセットしてください。



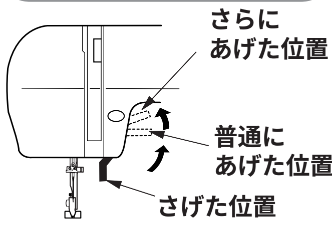
【フットコントローラー】

※スピードコントロールつまみは「はやい」にセットしてください。

深くふむ .... 速くなる
浅くふむ .... 遅くなる

※フットコントローラーの上に物を乗せないでください。

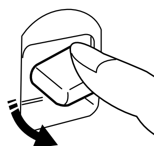
押さえ上げ



押さえ上げをさげると押さえがさがり、布地を押さえます。

※厚い布など布が入れにくいときには、普通にあげた位置よりさらにあげて入れます。

返しぬいレバー



【停止中の返しぬい】

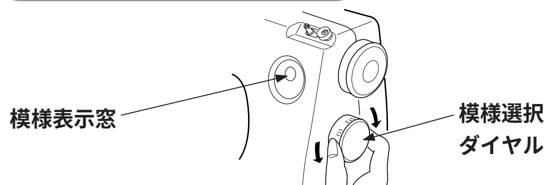
レバーを押すと、ゆっくり返しぬいを始めます。指をはなすと止まります。

【運転中の返しぬい】

ミシンを運転中レバーを押している間は返しぬいをし、はなすと前進ぬいになります。

※返しぬいレバーを下に押したとき、返しぬいレバーが斜めになりますが、ミシンの特性によるものであり故障ではありません。あらかじめご了承ください。

模様の選び方

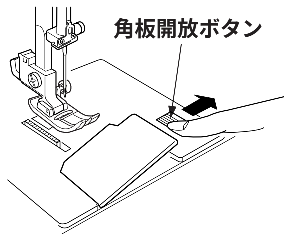


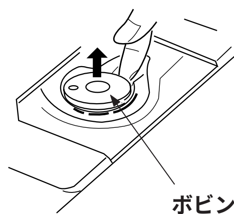
針をあげて模様選択ダイヤルを回し、模様を選びます。

※針が布にささったままで模様選択ダイヤルを回すと、針が曲がったり、折れたりする原因になります。

下糸の準備

★ボビンの取り出し

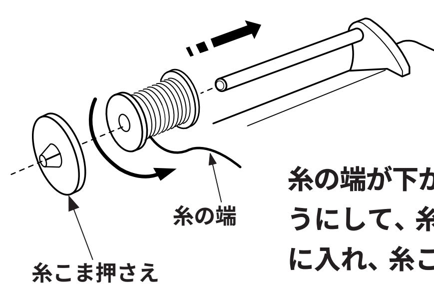




① 角板開放ボタンを右に寄せて、角板を外します。

② ボビンを取り出します。

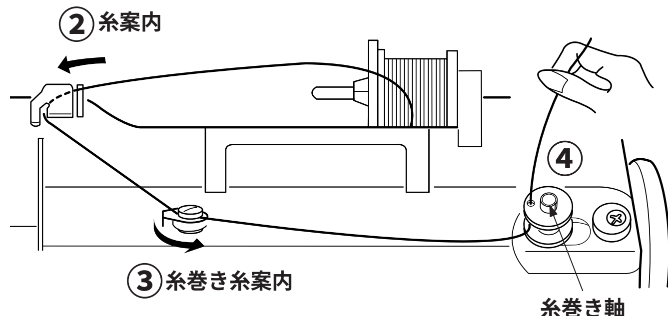
★糸こまのセット

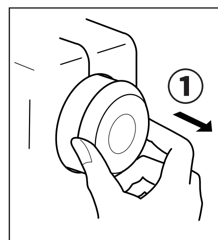


糸の端が下から手前に出るようにして、糸こまを糸立て棒に入れ、糸こま押さえで糸こまを押さえます。

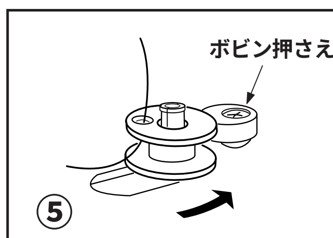
★ボビンに糸を巻く

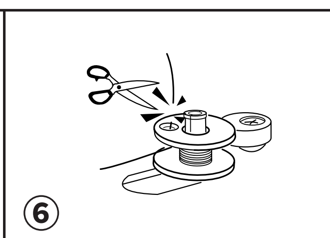
※スピードコントロールつまみは、「はやい」にセットしてください。
※ボビンは、必ず専用ボビンをご使用ください。他の製品を使うと、故障の原因になります。

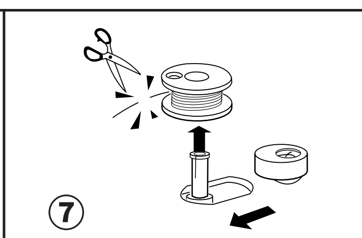


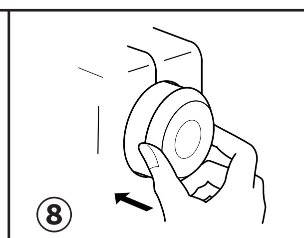


① はずみ車を引き出します。
② 糸案内にかけます。
③ 糸巻き糸案内にかけます。
④ ボビンの穴に内側から糸を通し糸巻き軸に差し込みます。









⑤ ボビンをボビン押さえの方に押しつけます。

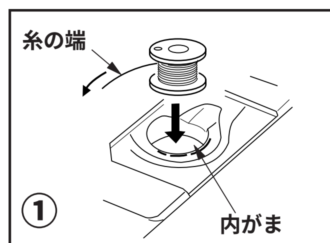
⑥ 糸の端をつまんだままミシンをスタートしてボビンに糸が２重ほど巻きついたら、ミシンを止めて、つまんでいる糸を切ります。

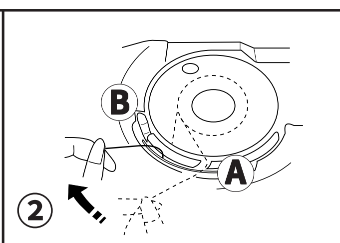
⑦ 再びスタートして、巻き終わったらミシンを止めます。糸を切って糸巻き軸を戻し、ボビンを糸巻き軸より外します。

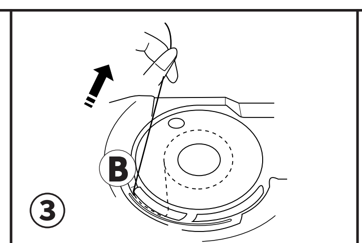
⑧ はずみ車を元の位置（押し込む）に戻します。

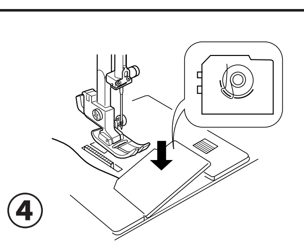
★ボビンのセット

⚠ 注意
ボビンを内がまにセットするときは、電源スイッチを切ってください。









① 糸の端を矢印方向に出し、ボビンを内がまに入れます。

② 糸の端を引きながら、手前のみぞ（A）にかけます。糸を引きながら左へ移動させ、みぞの外とバネの間を通して、左側のみぞ（B）のところに出します。

③ 糸を左側のみぞ（B）にかけるように、向こう側に出します。
※ 糸を引き出したとき、ボビンは反時計方向に回転します。時計方向に回転した場合、ボビンの向きを上下逆に入れかえます。

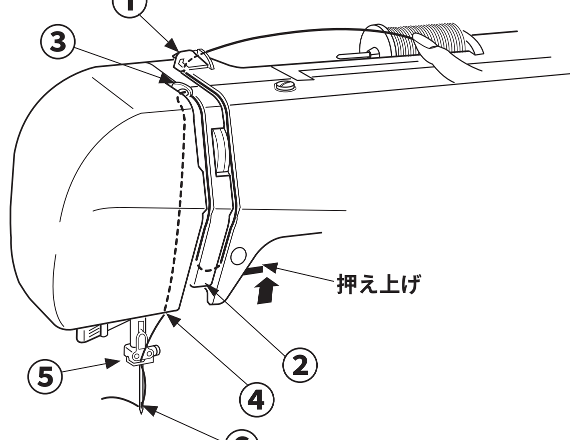
④ 下糸は、10cm くらい引き出して、角板を左側から合わせて、付けます。

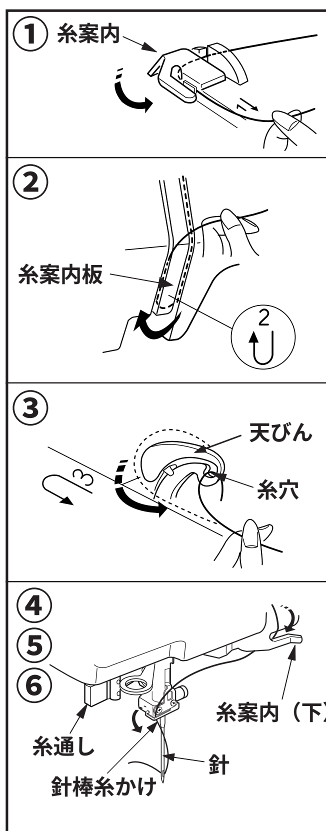
上糸の準備

★上糸のかけ方

※必ず**押さえ上げをあげて**から上糸をかけます。
押さえ上げをあげないと、正しい上糸かけができません。

⚠ 注意
上糸をかけるときには、必ず電源スイッチを切ってから行います。**けがの原因**になります。





① 押さえ上げをあげます。糸を両手で持って糸案内の向こう側からかけます。

② 糸案内板にそっておろし、下を回して左上に引きあげます。

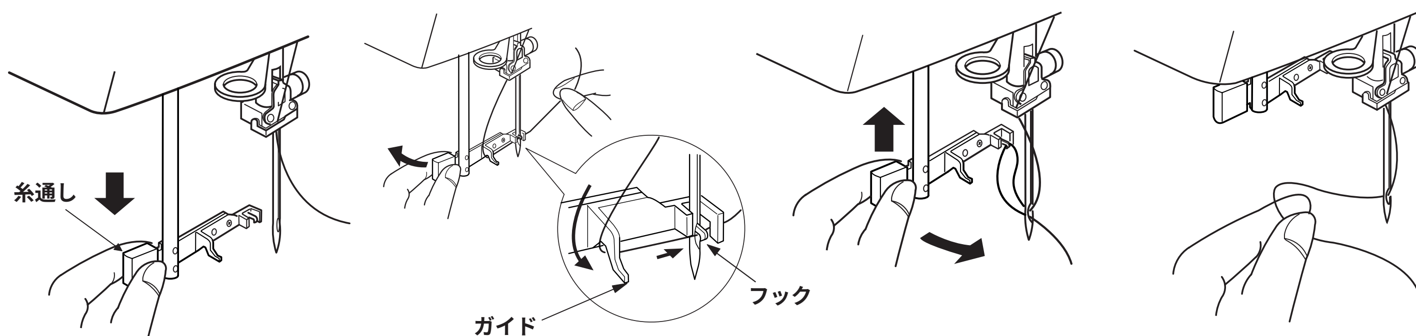
③ はずみ車を手前に回し、天びんを上部にします。天びんには、右から後ろを回して糸穴に入れ、まっすぐ下におろします。

④糸案内（下）の右からかけます。

⑤ 針棒糸かけに左からかけます。

⑥ 糸通しを使って針に糸を通します。

★糸通しの使い方



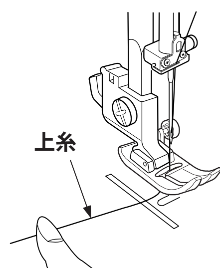
① 針を一番上にあげて、糸通しを止まるまでいっぱいに引き下げて、保持します。

② 糸通しを矢印方向へ回してフックを針穴に入れます。糸をガイドとフックにかけます。

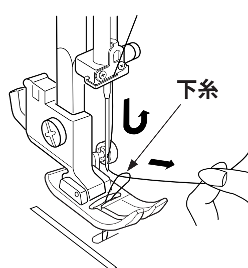
③ 糸通しを矢印方向へ回して糸が輪になって出てきたら糸通しを押しあげ､糸の輪を引き上げます。

④ 針穴から端を引き出します。

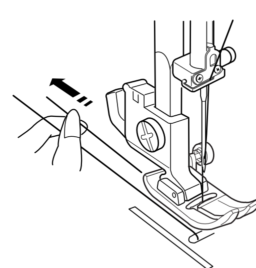
★下糸の引き上げ方



① 押さえをあげ、糸の端を指で押さえておきます。

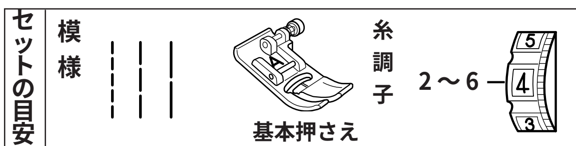


② はずみ車を手で手前に回し、一回転させます。上糸を軽く引くと下糸の輪が引き出されます。



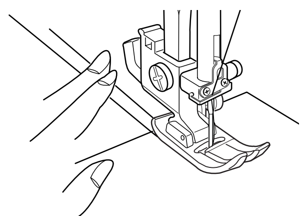
③ 上糸と下糸を押さえの下にして、後ろへそろえて約 10cm くらい出します。

直線ぬい



※模様は、ぬい目のあらさが異なる3種類があります。

★ぬい始め

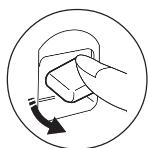


糸と布を押さえ、はずみ車を手前に回し、ぬい始めの位置に針をさします。

※位置がずれた場合には、はずみ車を向こう側に少し回すだけで針が布から抜けます。もう一度位置合わせを行ってください。

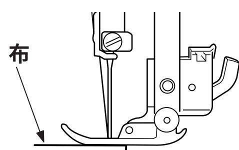


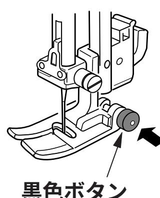
押さえをさげて、布をガイドラインに合わせてぬい始めます。



※ぬい始めのほつれ止めは、返しぬいレバーをご使用ください。

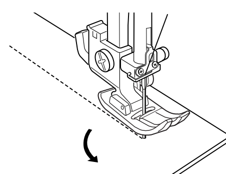
★厚手の布端のぬい始め





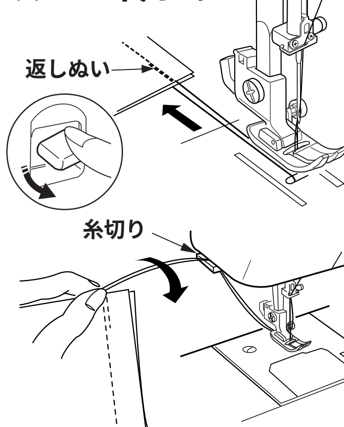
ぬい始めの位置に針をさし、基本押さえの黒色ボタンを押しこみます。
黒色ボタンを押したままで押さえをさげます。黒色ボタンから手をはなし、ぬい始めます。押さえが完全に布の上にのると、黒色ボタンの押しこみは自動的に解除されます。

★ぬい方向の変更



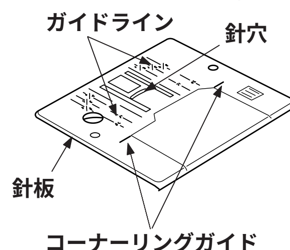
ミシンを止め、針を布にさし、押さえをあげます。針をさしたまま、布を回して方向をかえます。

★ぬい終わり



返しぬいレバーを押しながら数針返しぬいをします。
ミシンを止め、押さえをあげて、布を向こう側に引き出し、糸切りで糸を切ります。

★針板ガイドラインの利用

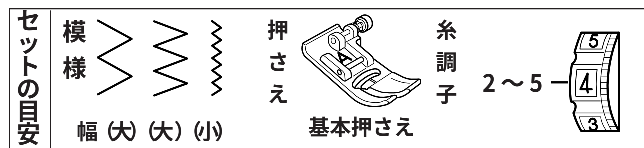


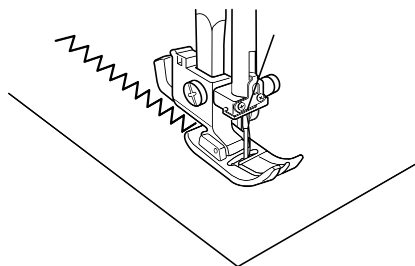
ガイドライン・・布端を合わせます。

数字	15	20	4/8	5/8	6/8
間かく（cm）	1.5	2.0	1.3	1.6	1.9

コーナーリングガイド・・
布端がガイドのところにきたらミシンを止め、針を布にさし、押さえをあげ布を回転させます。
(針穴から1.6cmの位置です。)

ジグザグぬい

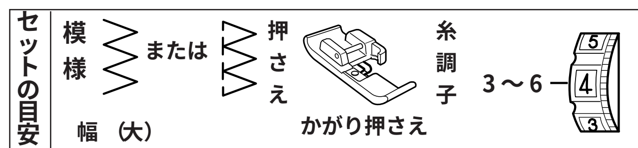


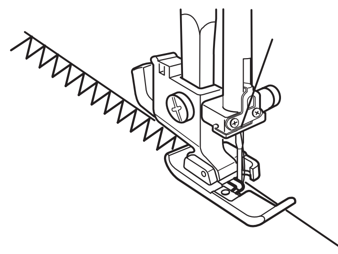


伸縮性のある布（ニット、ジャージー、トリコットなど）には、芯地を貼るときれいにぬえます。

※模様は、3種類あります。

ジグザグぬいたち目かがり

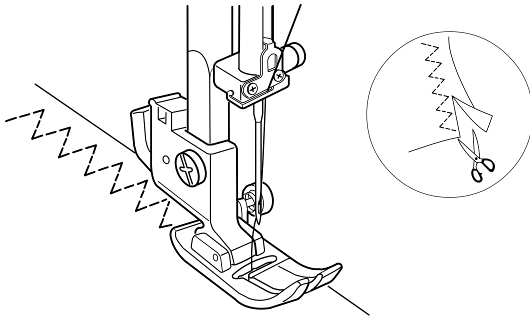




模様はジグザグ幅（大）を使用します。
布端のほつれ止めとして広く利用します。

トリコットぬいたち目かがり

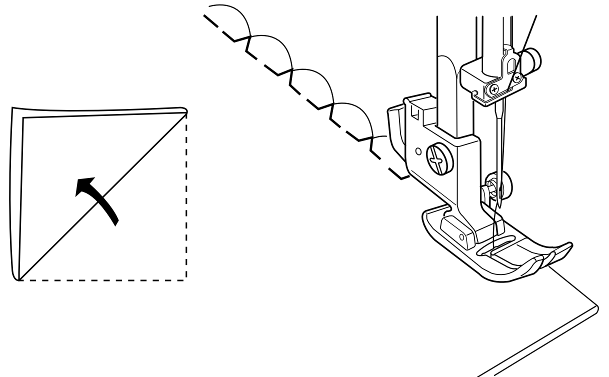




ほつれやすい布や、伸縮性のある布のほつれ止め、布端の反り防止などに利用します。ぬいしろを少し多めにとってぬい、余分なところをぬい目近くで切り落とします。

シェルタック



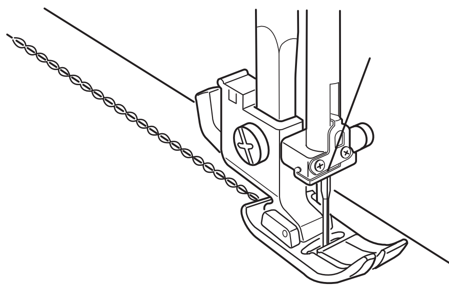


① 布をバイヤスに二つ折りにします。

② 針が右にきたとき、布の折り山のきわにおりるようにしてぬいます。

直線三重ぬい





伸縮性のある強いぬい目なので、補強ぬいに便利です。

※ 布が前後するので、ぬい目が曲がらないように注意してぬってください。

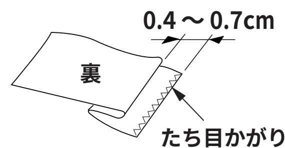
くけぬい（まつりぬい）



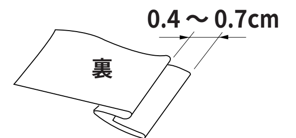
※模様　は、伸縮性のある布に使用します。

【布の折り方】

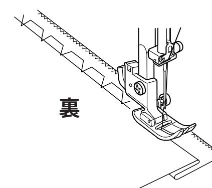
(厚い布の場合）

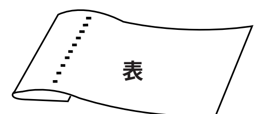


（薄い布、普通の布の場合）



【ぬい】

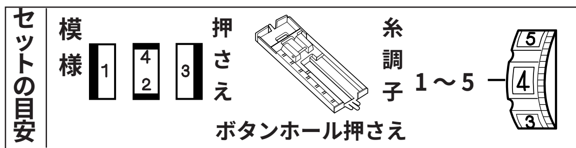




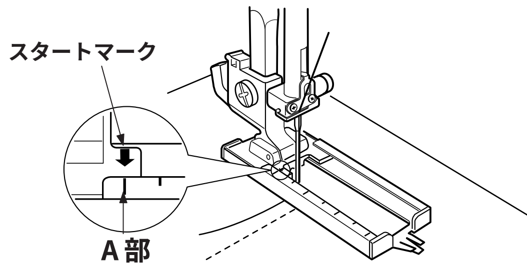
① 針がいちばん左にきたとき、わずかに折り山をさすように布を置き、押さえをさげてスタートします。
スピードコントロールつまみは「おそい」にします。

② ぬい終わったら布を広げます。

ボタンホール

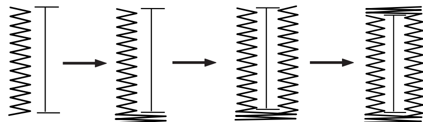


※ぬうものと同じ布で試しぬいをしてください。
※伸縮性のある布には､裏に伸びにくい芯地を貼ってください。

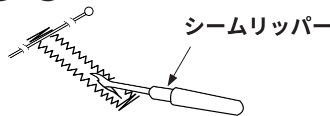




② ③ ④ ⑤



⑥ ⑦



① 模様 を選びます。上糸を押さえの穴から通して下糸と一緒に横にそろえておきます。押さえを手前に引きスタートマークを A 部に合わせます。

② ぬい始めの位置に針をさし、押さえをさげてミシンをスタートし必要な長さまでぬってミシンを止めます。

③ はずみ車を回して針をあげ､模様 を選びます。かんぬきを 5 針くらいぬいミシンを止めます。

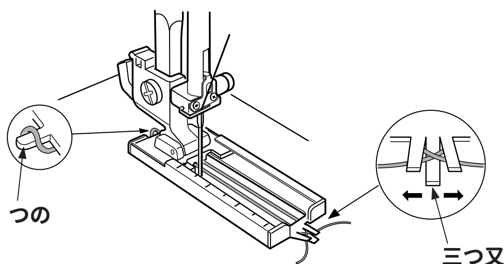
④ はずみ車を回して針をあげ､模様 を選びます。左側と同じくらいぬって、ミシンを止めます。

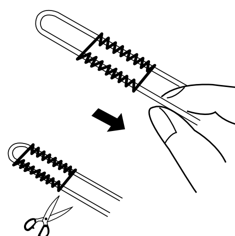
⑤ はずみ車を回して針をあげ､模様 を選びます。かんぬきを 5 針くらいぬいます。

⑥ 押さえをあげて布を引き出し､上糸と下糸を 10cm くらい残して切ります。
上糸を布の裏に引き出し､上糸と下糸を結びます。

⑦ かんぬきの内側にまち針をさし、シームリッパーでかがった糸を切らないように中央部分を切りひらきます。

★芯入りボタンホール





① 芯糸の輪を押さえの後ろ側にあるつのにかけ、押さえの下から手前に平行になるように引き出し､前側の三つ又にはさみます。

② ボタンホール手順と同じようにぬいます。

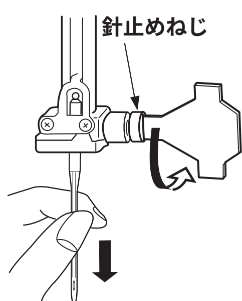
③ 左側の芯糸を引いてたるみをなくし、余分な芯糸を切ります。

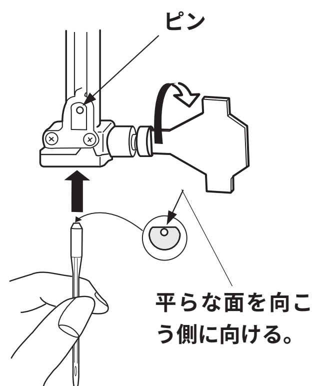
針の取り扱い

★針の取りかえ方

⚠ 注意

針の取りかえは、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。けがの原因になります。





①針止めねじを手前に1～2回まわしてゆるめ、針を外します。

②針の平らな面を向こう側に向けて、ピンにあたるまで差し込み、針止めねじをかたくしめます。

★布に適した糸や針を選ぶ目安

布		糸	針
うすい布	ローン ジョーゼット トリコット	ポリエステル ９０番	9番～１１番
普通の布	シーチング ジャージー 一般ウール	絹　糸５０番 綿　糸６０番 ポリエステル、ナイロン ５０番～９０番	１１番～１４番
		綿　糸５０番	１４番
厚い布	デニム コート地 ツィード	絹　糸５０番 綿　糸４０番～５０番 ポリエステル ４０番～５０番	１４番～１６番
		ポリエステル３０番 綿　糸３０番	１６番

※ 一般に、うすい布には細い糸と細い針を、厚い布には太い糸と太い針を使用します。この表を目安に針と糸を選び、ぬいたい布のはぎれを使って試しぬいをしてください。

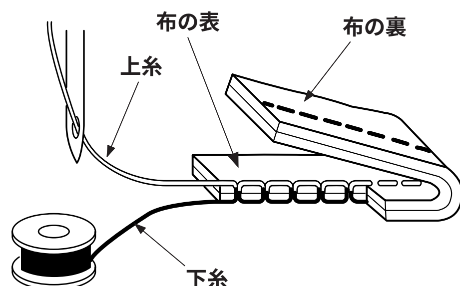
※ 原則として、上糸と下糸は同じものを使用してください。

※ 伸縮性のある布地（ジャージィ、トリコット）や目とびしやすい布地などには、ジャノメブルー針（別売）を使用すると防止効果があります。
（市販オルガンＳＰ針も同様の効果があります。）

糸調子の調節

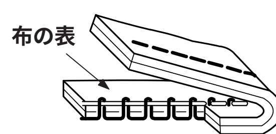
糸や布の種類によって糸調子のバランスがとれないときには、糸調子ダイヤルを回して上糸と下糸のまじわる位置を調節します。

【正しい糸調子】・・・ 上糸と下糸がほぼ中央でまじわります。

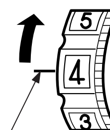


【上糸が強い場合】

下糸が布の表に出ます。



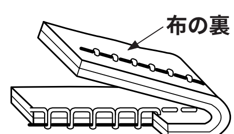
糸調子を弱めます。



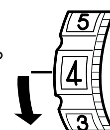
指示線に合わせます。

【上糸が弱い場合】

上糸が布の裏に出ます。



糸調子を強めます。



ロックカッター

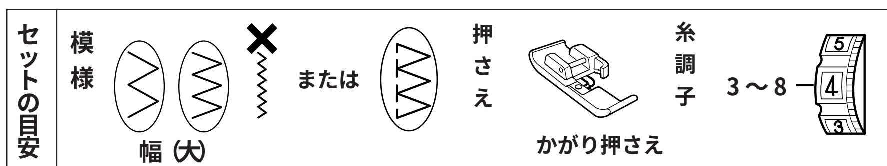
ワンタッチでロックカッターがセットされ、布を切りながら、たち目かがりができます。

安全にご使用いただくために

⚠ 注意　けが防止のために、以下のことを必ず守ってください。

1. ロックカッターをセットするときには、必ず、電源を切ってください。
2. 操作中は、針やロックカッターの動く部分に指を触れるとけがをするおそれがありますので、絶対に指を近づけたり、触れたりしないでください。
3. ロックカッターの切刃部分には、指を触れないでください。
4. ロックカッターを使用するときは、たち目かがり専用の模様（ または ）を必ず選んでください。
5. 押さえは、付属のロックカッター専用かがり押さえをご使用ください。
6. ミシンの速度は、「おそい」でご使用ください。
7. 操作中は、お子様や他の人を近づけないでください。もし、ロックカッターに触れて不意に動かされると、針が折れたりして危険です。
8. 使用後は、必ず、もとの位置にロックカッターを戻してください。
9. 厚物ぬいには使用しないでください。
10. ロックカッターをご使用になると、布切りによって生じるほこりが、送り歯やかま部にたまりやすくなります。ロックカッターのご使用後は電源を切り、針板を外して、送り歯とかま部の布ほこりを取り除いてください。（１３ページ）

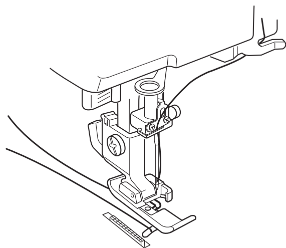
★ミシンのセット



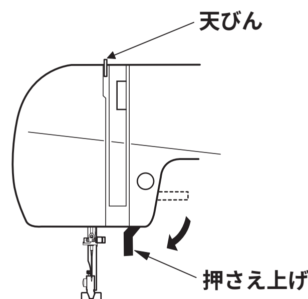
※ぬうものと同じ布で試しぬいをして、ミシンのセットを確かめましょう。

★ロックカッターのセット

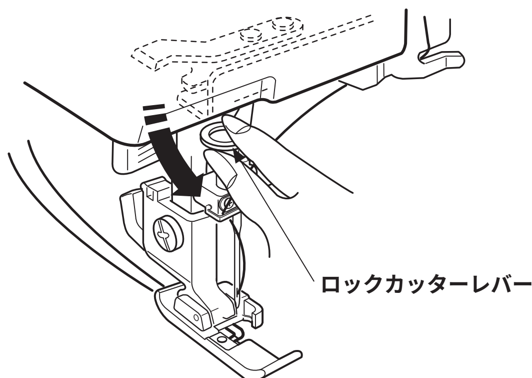
※かがり押さえをセットします。
※上糸の通し方は普通ぬいと同じです。



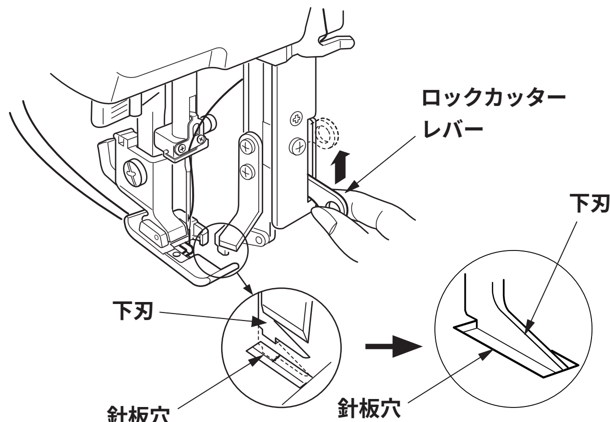
① 上糸を通しおえたら上糸と下糸を押さえの下にして、後ろへそろえて 10cm ぐらい出しておきます。



② 上糸と下糸の準備ができたら、天びんを一番上にあげて、押さえ上げをさげます。



③ 天びんが一番上にあがっていることを確認して、ロックカッターレバーを下におろします。

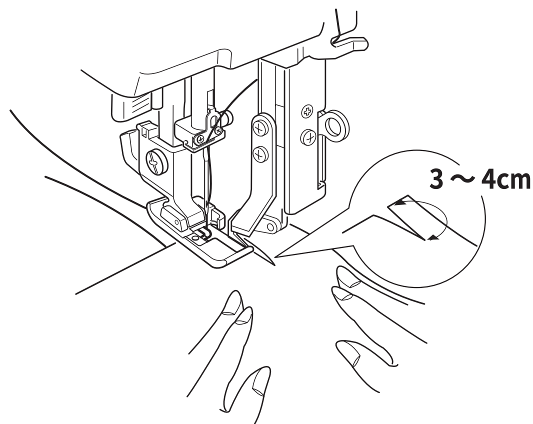


④ ロックカッターがおりたら、ロックカッターレバーを上にあげ、下刃を針板穴にセットします。
※ 必ず、下刃が針板穴に確実に入っていることを確認してください。

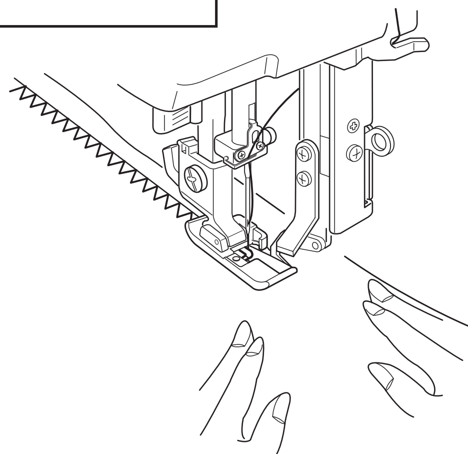
★ぬい

⚠ 注意

ロックカッター使用時は、絶対に返しぬいはしないでください。針が折れたりして危険です。



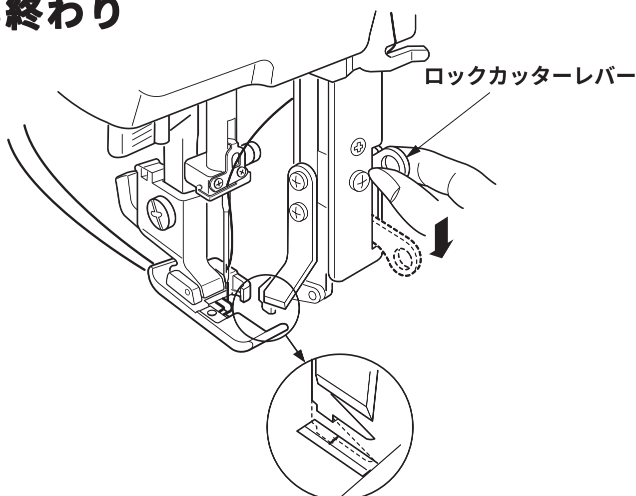
① 布のぬい始めを、3～4cm 程はさみで切ります。押さえ上げをあげ、切り口を下刃に合わせ、押さえの下に入れます。



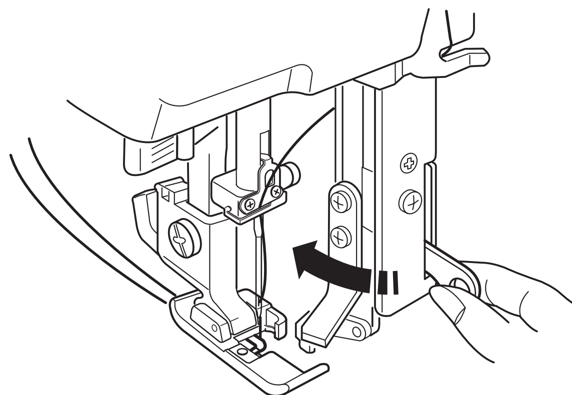
② 押さえ上げをさげて、針を布にさし、ゆっくりぬい始めます。

※ミシンの速度は必ず「おそい」でご使用ください。

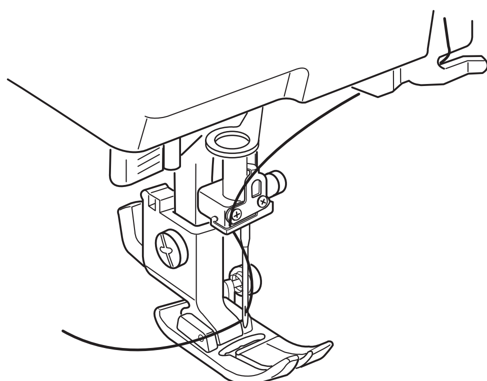
★ぬい終わり



① ロックカッターレバーを下にさげ、下刃をあげます。



② 押さえ上げをさげ、天びんが一番上にあがっているか確認して、ロックカッターレバーをもとの位置に戻します。



③ 押さえ上げをあげ、押さえを交換します。

ロックカッター収納時の注意

1. 押さえ上げをさげてから、ロックカッターを収納してください。押さえ上げがあがっていると、押さえとあたり破損の原因になります。
2. ロックカッターが、「カチッ」と止まる位置まで戻してください。

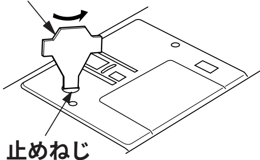
ご注意

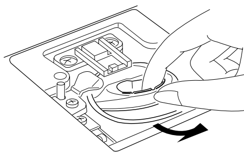
はずみ車を手でゆっくり回したときに、きしみ音がしますが、トラブルではありませんのでご了承ください。

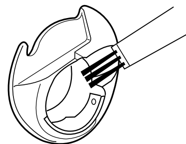
ミシンのお手入れ

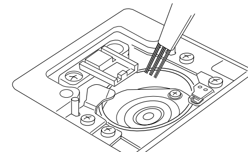
★かまと送り歯の掃除

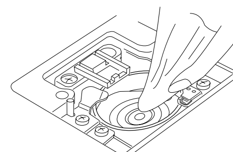
> ⚠ 注意
>
> お手入れのときは、必ず電源スイッチを切って電源プラグを抜いてから行ってください。
> また、説明されている場所以外は分解しないでください。
> **感電・けがの原因になります。**











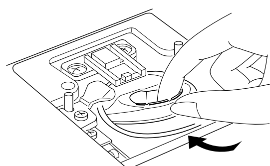
① 針と押さえを外します。針板止めねじを外して、針板を外します。

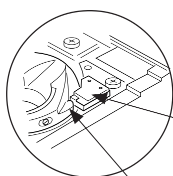
② ボビンを取り出し、内がまの手前を上に引きながら外します。

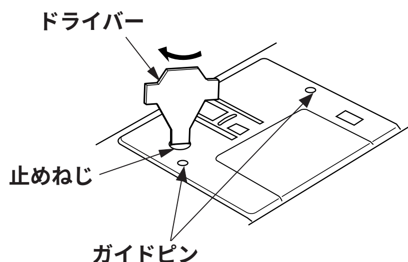
③ 内がまをブラシで掃除し、布切れで軽くふきます。

④ ブラシや掃除機で外がまと送り歯、およびその周辺の糸くずをとり、外がまを布切れで軽くふき掃除します。

★内がまと針板の組み付け







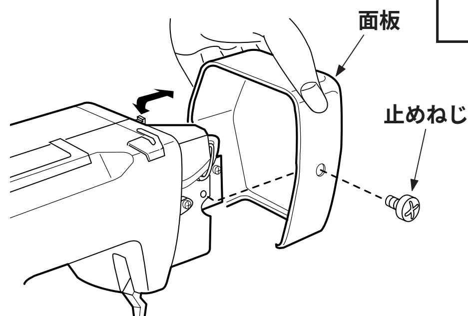
① 内がまを差し込みます。

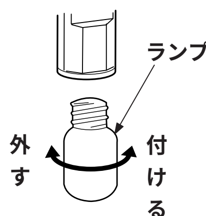
② 内がまの凸部を回転止めの左側におさめます。

③ ボビンを入れ、2 箇所の針板ガイドピンに針板ガイドの穴を合わせ、止めねじをしめます。

★ランプの交換

> ⚠ 注意
>
> ランプの交換は、必ず電源スイッチを切って電源プラグを抜いてから行ってください。
> また、ランプが冷えてから交換してください。
> **感電・やけどの原因になります。**





【取り外し】

① 止めねじを外して、面板を外します。

② ランプを左に回して、外します。

【取り付け】

① ランプを右に回して、取り付けます。

② 止めねじで面板を取り付けます。

ミシンの調子が悪いときの直し方

調子が悪い場合	その原因	直し方
上糸が切れる	1　上糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外の場所にからみついている。 2　上糸調子が強すぎる。 3　針が曲がっていたり、針先がつぶれている。 4　針の付け方がまちがっている。 5　ぬい始めに上糸と下糸を押さえの下にそろえて引いていない。 6　針に対して、糸が太すぎる。	上糸を正しくかけ直す。 糸調子ダイヤルを弱める。 針を交換する。 針を正しくつける。 上糸と下糸をそろえる。 適切な針や糸を選ぶ。
下糸が切れる	1　下糸の通し方がまちがっている。 2　内がまの中に、ごみがたまっている。 3　ボビンにキズがあり、回転がなめらかでない。	下糸を正しく通し直す。 内がまを掃除する。 ボビンを交換する。
針が折れる	1　針の付け方がまちがっているか、針が曲がっている。 2　針止めねじのしめつけが、ゆるんでいる。 3　針を布にさしたままで、模様選択ダイヤルを回した。 4　布に対して、針が細すぎる。	針を交換する。 針止めねじをしっかりしめる。 針をあげてからダイヤルを回す。 針を交換する。
ぬい目がとぶ	1　針の付け方がまちがっているか、針が曲がっている。 2　布に対して、針と糸があっていない。 3　伸縮性のある布や目とびのしやすい布地などのとき、ジャノメブルー針（市販ＳＰ針）を使っていない。 4　上糸のかけ方がまちがっている。	針を交換する。 適切な針や糸を選ぶ。 ブルー針を使う。（別売） 上糸を正しくかけ直す。
ぬい目がしわになる	1　上糸調子が合っていない。 2　上糸と下糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外の部分にからみついている。 3　布に対して、針と糸があっていない。	糸調子ダイヤルを調整する。 糸を正しくかけ直す。 適切な針や糸を選ぶ。
ミシンが回らない	1　コンセントに、プラグがきちんと差し込まれていないか、つなぎ方がまちがっている。 2　かまに、糸やごみがたまっている。 3　下糸を巻いたあと、はずみ車が元に戻っていない。(糸巻き状態になっている)	正しく差し込む。 かまの掃除をする。 はずみ車を元に戻す。
ロックカッターでうまくかがれない	1　模様がまちがっている。 2　糸のかけ方がまちがっている。 3　下刃が正しくセットできていない。	模様を選び直す。 糸を正しくかけ直す。 下刃を正しくセットする。

【オプション品の取り扱いについて】

このミシンでは、次のオプション品は使用できませんのでご了承願います。
ダーニング押さえ、送りジョーズ、ラフラー押さえ、ミラクルステッチ押さえ

MEMO

MEMO

修理サービスのご案内

●お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は内容をお確かめの上、大切に保管してください。

●無料修理保証期間内（お買い上げ日より一年間です）およびそれ以降の修理のつきましても、お買い上げの販売店が承りますのでお申し付けください。

修理用部品の保有期間

●当社は動力伝達部品、および縫製機能部品を原則として製造打ち切り後８年間を基準として保有し、必要に応じて販売店に供給できる体制を整えています。

無料修理保証期間経過後の修理サービス

●使用説明書に従って、正しいご使用とお手入れがなされていれば、無料修理保証期間を経過した後でも、修理用部品の保有期間内はお買い上げの販売店が有料で修理サービスをします。

ただし、次のような場合は修理できないときがあります。

１）保存上の不備または誤使用により不調、故障または損傷したとき。

２）浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。

３）お買い上げ後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。

４）お買い上げ店、または当社の指定した販売店以外で修理、分解、または改造したために不調、故障または損傷したとき。

５）職業用等過度なご使用により不調、故障、または損傷したとき。

●長期間にわたってご使用された場合の精度の劣化は、修理によっても元通りにならないことがあります。

●有料修理サービスの場合の費用は必要部品代、交通費、およびお買い上げ店が別に定める技術料の合計になります。

お客様の相談窓口

修理サービスについてのお問い合わせやご不審のある場合は下記にお申し付けください。

蛇の目ミシン工業株式会社
〒193-0941 東京都八王子市狭間町 1463 番地
TEL. お客様相談室　0120ー026ー557（フリーダイヤル）
042　ー661ー2600
受付 平日 9：00～12：00　13：00～17：00
（土・日・祝日・年末年始を除く）
ホームページ　http://www.janome.co.jp
メールでのお問い合わせ　customer@gm.janome.co.jp

仕様	
使用電圧	100V　50/60Hz
消費電力	55W / ランプ 12W
外形寸法	幅 35.4cmX 奥行 15.9cmX 高さ 26.1cm
重量	6.0kg（本体）
使用針	家庭用　HA X 1
縫速度	毎分 650 回転

仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

661-800-016①